

全日本選手権「優勝狙う」

八学大野球部 本社で意気込み



北東北大学野球春季リーグでの優勝、全日本大学選手権出場を報告した八学大の（左から）正村公弘監督、北嶋隼人主将、加藤豪人主務
=28日、デーリー東北新聞社

北東北大学野球春季リーグ1部を11季ぶりに制し、全日本大学選手権（6月9〜16日・神宮球場ほか）に出場する八戸学院大野球部関係者が28日、八戸市のデーリー東北新聞社を訪れて石藤清悦編集局長らと懇談

し、晴れ舞台への意気込みを語った。訪れたのは、同大野球部の正村公弘監督、北嶋隼人主将、加藤豪人主務ら4人。八学大は春季リーグの勝

1分だけで優勝。正村監督は「大道（温貴）、中道（佑盤）で勝負強い打撃が光った。青森大戦で本塁打2本、ライバル・富士大戦で満塁弾を放つなど、リーグ戦終盤で勝負強い打撃が光った

北嶋主将は「それまで後輩に助けられていたので、打撃フォームを変えた。打てて良かった」と笑顔で振り返った。

2012年以来の出場と異なる全日本大学選手権では、6月10日の1回戦で佛教大（京滋大学野球連盟）との初戦を迎える。北嶋主

将は「まず目の前の1勝を目指しつつ、やるからには優勝を狙う」と闘志を燃やしていた。
（林泰輔）